

志望校選びの大事さと模擬試験の活用について

塾長 上谷 恭範

(一)、小6・中3時点で志望校を選択するにあたって大事なことは、将来どんな大学に入って、何を学び、どんな仕事なり研究なりをしたいのか、まで考えていく必要がある。ただ現在の時点ではほとんどの親や子が将来のことが理解できていない。しかし進路の決断をするにはご家庭で本人と親とそしてご家族でその学校の研究をし、話し合いをし、親が最終的な判断をしてあげなければならぬ。それが親の子に対する責任である。つまりそれがご家庭の教育方針そのものであるからである。そのうえで、進学校か大学付属校であるか、男子校・女子校または共学校か、そしてその学校の理念なり特色なりを十分に熟知し、その学校の説明会で又は相談会でメモを取るなり塾の教師に相談するなりして親がその学校を決定すること。したがって単純に偏差値のみで選択してはならないのである。

(二)、次にわが子がその学校に入れるペーパーの力があるかどうか。そこに模擬試験の活用がある。10月から4〜5回の模擬試験を受けてその学校に入れる力があるかどうか確認するのである。ここでその学校の偏差値に達しないからといってすぐに諦めてはならない。今まで5年生・6年生と塾で勉強し続けた人であれば偏差値の45の人を55にもっていくのは容易、また50の人が60になるのも同様、60の人は65も65も力は同じ。偏差値を10ポイント5ポイント上げるには、親も子ども必死の努力はせねばならない。そして塾とともに3か月塾長の指示に従ってくだされば可能である。

(三)、しかし模擬試験でその学校の偏差値に到達したから安心だとは思わないうでほしい。その学校の試験問題で制限時間内に合格点を取らなければ合格することはできない。

だからその学校の過去問を親も子ども塾教師とともに研究し、予想し、どの問題は取り、どの問題は捨てるかを判定しなくてはならない。

(四)、最後に、受験日程とオリンピックの競技日程のとらえ方は同じである。つまり受験も競技もベストコンディションで臨まなければメダルの獲得はできない。模擬試験でいつも合格ラインを突破し、その学校の過去問で合格点を取ったとしても、受験日に病気になるや棄権したり、最悪のコンディションで試験を受けてはならないのだ。

合格を手にする為

脇田 良子

私立幼稚園、小学校の入学試験まで、早や五十日余りとなりました。

幼児英才教室の幼稚園、小学校の受験クラスでは、九月からもう一度やさしい基本的な内容の授業に戻し学習を致します。

その最大の目的は、入試に合格するためです。もう一つの理由としては、十月の運動会に向け各幼稚園で練習が始まり、子どもが疲れているためです。

夏期講習では応用的問題を扱い「考える力」「スピード」「最後までやりぬく力」等を身につけました。ここでもう一度基本的な考え方・知識の整理を行い、しっかりと学力と入試に対応出来る力を付けます。

そして、運動会が終わわり、疲れがとれた時点で「スピード」「しっかりと聞き取る」「最後まで考える」を定着させるために、授業をすべてテスト形式で行います。

きちんとした姿勢で座り、相手の目を見て指示を聞き取り、時間内で仕上げるスピード、最後までやりぬく力を付け、入試当日、子どもたちが自信を持って試験に臨めるようにいたします。

また九月からは通常授業の他に、「平日特訓」「日曜特訓」「模擬面接」の講座を設け、身心ともに良い状態で入試当日を迎えられるよう指導していきます。

時に幼稚園・小学校の入試で実施される面接試験は、合格を左右すると言っても過言ではありません。面接というのは学校側が入学させて、

(1) 授業についていけるかどうか。

(2) ご家庭の教育方針と学校の教育方針が合致しているかどうか。

かどうか。

(3) 道徳心、公共心、友達と仲良くやっていける優しさ、思いやり、気づかひがあるかどうか

等々を見る試験なので、面接する先生方に、いい印象を与えねばなりません。だからペーパーや行動観察と同様大事な試験なのです。そこで当教室では毎年、学園長が試験官を務める模擬面接を実施し、立ち振る舞い、言葉遣い等々、一つ一つ丁寧に指導しております。

ご家庭・ご両親・お子様、当教室お互いの力を合わせ、合格を手に入れましょう。

ママ、怒らないで

谷本 美和

長い夏休みが終わりました。年長児にとっては特別な夏休みだったと思います。これまでの問題点が克服できた子、新たに問題点が見つかった子等さまざまだと思いますが、子どもも精一杯頑張った事と思います。その頑張りをたくさん褒めてあげてください。きつとこれからまた頑張ろうという強い力となるはずですよ。残り2ヶ月あまり、また気持ちを新たに頑張ってください。

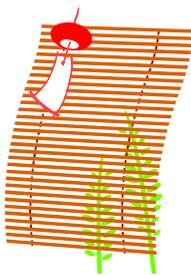
これから先は、学習だけではなく、精神的に安定している事がとても大切になります。ご両親の焦りが子供を不安にさせてしまいます。子供が安らげる場所がご家庭にしかありませんので、焦らず、他人とは比較しないでそれぞれに合ったペースで進めて行きましょう。

生活のリズムを整え、健康管理にも十分気を付けて下さい。そして心も体もベストな状態で試験当日を迎えられるよう心掛けて下さい。

○いろいろな解き方のある問題 (問題作成:金子)

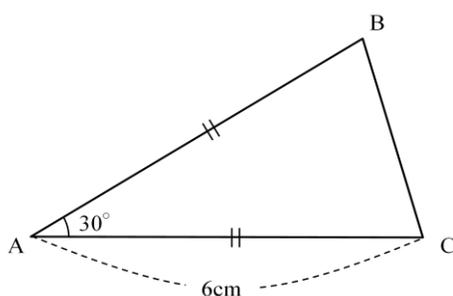
算数・数学では学年が上がるにしたがって、様々な解法を学び、同じ問題でも様々な解法によるアプローチが可能になります。

下の2つの問題は一見似たような問題ですが、問題1は小学生から、問題2は中学生から解く事が可能です。あなたは両方解く事ができますか？

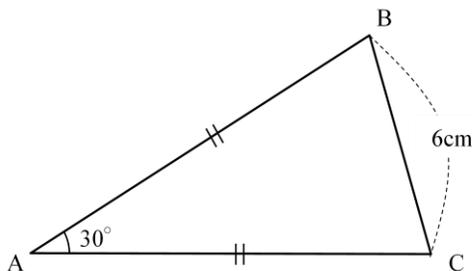


Q 次の図の△ABCは二等辺三角形です。面積を求めなさい。

◆問題1◆



◆問題2◆



解答は裏をご覧ください。



幼児英才教室のホームページはこちら!
<http://www.syumei-eisaikyoushitsu.com>



「中3受験生の2学期生活の心構え」

柴田 圭

約1か月半の長いように感じられた夏休みも終わり、都内の中3受験生とって、最も重要な2学期がスタートしました。

修明塾の夏期講習を受講した中3生の皆さんは、ほとんどが「2学期の先取り講座」を選択し、いよいよ過去問演習に向けた授業に移行していきます。夏期講習で培った基礎理解の土台を活かして、2学期の定期試験に全力で立ち向かわなくてはなりません。ご存知のように、都内の公立・私立の入試内申書類は、2学期の各科目5段階評価のみを活用します。ですから、この約3か月間、受験生の皆さんにとっては、一番神経質になる時期なのです。なぜなら、志望校の選択幅（合格可能性を含む）がほぼ決定してしまうからです。（厳しくもこれが現実…）

では、中3受験生が、志望校選択を広げ、成績・ヤル気向上させるには、どのようにしたらよいのでしょうか。ここでは、3つのポイントに絞って、アドバイスをしたいと思います。

① 2学期中間・期末の「定期試験」の点数と内申をUPせよ

「絶対評価」への対策も忘れずに！

皆さんは、1学期のテスト成績・5段階評価に満足していませんか？

公立の学校が全国一斉に「絶対評価」から「絶対評価」に切り替わって、もう10年が経過しました。「テストで90点をとつたのに、通知表の成績が、期待していた『5』にならず『3』のままだった」という経験はないでしょうか。つまり、テストの点数に加えて、通知表の評定は、各科目にも異なりますが、おおむね「関心」「思考」「表現」「知識」の4つの観点から、項目別の評価も十分加味した総合的な評価によるものです。

成績UPの秘訣として、

関心(意欲・態度)：授業態度などが評価されることが多く、授業中に積極的に発言することや、課題等の提出物の管理(適切厳守)をしつかりすること。

思考(判断)：各教科別の単元学習において、「なぜ?」「どうして?」に対し、「くだから」といった理由や根拠も説明できるようにすること。

表現(処理)：ノートの要点整理や資料の読み取り分析を正確にしましょう。ノートには、ただ写すだけでなく、ポイントが目立つように色を使ったり図表にまとめるなど、見やすくわかりやすく工夫すること。

知識(理解)：主として、授業中の小テストや定期試験(中間・期末)が対象になります。しかし、実際、塾生を通して、テスト問題用紙を回収してみると、「知識・理解」だけが問われるわけではなく、各観点別に出題されていることに気付くので「観点別の得点」も意識してきちんと現状を把握しておくこと。

これらを踏まえて言えることは、「成績」も「内申」も急がるといえることは至難の技であり、間に合せの学習の取り組みだけでは限界は明白です。ですから、学校や塾の授業、そして家庭学習において、毎日の積み重ねがいかに大切なのかを痛切に感じて欲しいです。

② 三大検定(漢検・数検・英検)を取得せよ

各検定とも「3級」以上の取得を目標にしましょう

(※社会人の履歴書記入も可能)。特に私立高の受験(単願・併願)においては、検定取得の優遇・加点措置があります。

(例えば、漢検3級取得で、内申+1加点というように…)こうした優遇措置は徹底して活用すべきものです。

修明学園は、漢検と数検の準会場認定校になっており、中3受験生の内申書対策の一環として、2学期中の検定日程を設定しております。また、希望者には検定対策指導もしております。

数学検定 10月26日(金曜) 実施
漢字検定 11月2日(金曜) 実施

※塾内申込の締切日等は、修明学園HPをご参照ください。

③ 志望校選択・決定のための「学校説明会」を徹底活用せよ

これまでの中3受験生の多くが、「学校見学がきっかけで志望校を決めた」というくらい、都立高・私立高が実施する「学校説明会」や「行事・イベント」への参加には、重要な意味があります。入学後の生活や卒業後の進路など、具体的なイメージを構築することで、受験勉強へのモチベーションも大きく変わってくることでしょ。

学校説明会に行く際の見べき3つのポイントを挙げると、

- 「入試情報」：入試日程や制度(推薦や出願基準・選抜方法、優遇措置の有無)、過去問
- 「生活面」：校則・制服・施設設備・通学時間・在校生の雰囲気・部活動の様子
- 「学習面」：カリキュラム・進路状況(進学実績等)・資格取得のサポート

最低限これらを確認しましょう。すでに夏休み中の7月下旬から、ほとんどの学校で、説明会等がスケジュール化されています。(各学校のホームページや塾内で配布している説明会一覧表・冊子等を参照しよう)

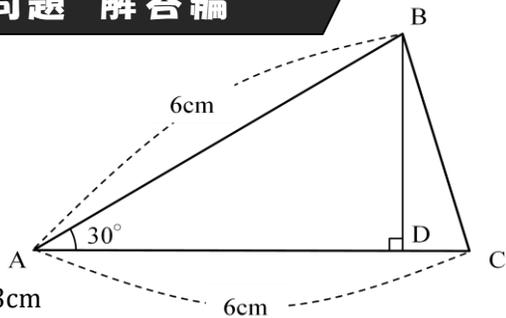
以上、3つの心構えと「背水の陣」をもって、充実した2学期を送って欲しいです。また、塾内での高校受験・進路相談(二者面談・三者面談)は、随時ご対応いたしますので、ご連絡お願いいたします。

修明塾HPはこちら <http://www.syumei.co.jp>
塾報バックナンバー・ブログ更新中!

○いろいろな解き方のある問題 解答編

①小学生の解法
三角定規の性質を利用して解く事ができます。

$\triangle ABD$ は三角定規です。 $BD = 6 \div 2 = 3\text{cm}$
 $\triangle ABC = 6 \times 3 \div 2 = 9\text{cm}^2$



②中学生の解法
中学3年生で学習する三平方の定理で解く事ができます。

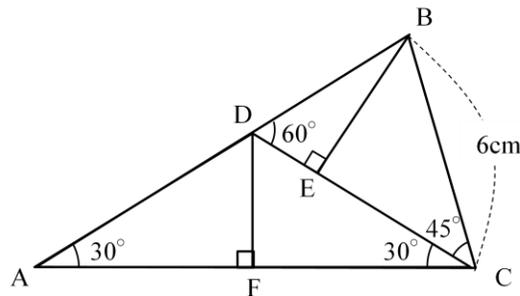
補助線 CD, BE, DF を上の図のようにとります。

$\triangle BEC$ について $BC : BE = \sqrt{2} : 1$ より $BE = EC = 3\sqrt{2}\text{cm}$ (EC)

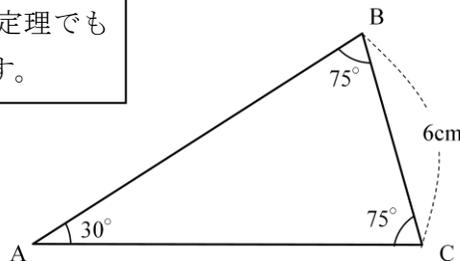
$\triangle BED$ について $BE : DE = \sqrt{3} : 1$ より $DE = \sqrt{6}\text{cm}$

$\triangle DFC$ について $DC : DF : FC = 2 : 1 : \sqrt{3}$ より $FC = \frac{3\sqrt{2} + 3\sqrt{6}}{2}\text{cm}$ $DF = \frac{\sqrt{6} + 3\sqrt{2}}{2}\text{cm}$

よって $\triangle ABC = \frac{3\sqrt{2} + 3\sqrt{6}}{2} \times \frac{\sqrt{6} + 3\sqrt{2}}{2} \times \frac{1}{2} \times 2 + (\sqrt{6} + 3\sqrt{2}) \times 3\sqrt{2} \times \frac{1}{2}$
 $= 9\sqrt{3} + 18(\text{cm}^2)$



③高校生版
正弦定理、加法定理でも解く事ができます。



正弦定理より

$$\frac{6}{\sin 30^\circ} = \frac{AC}{\sin 75^\circ}$$

加法定理より

$$\frac{6}{\sin 30^\circ} = \frac{AC}{\sin 45^\circ \cos 30^\circ + \cos 45^\circ \sin 30^\circ}$$

$$\frac{6}{\frac{1}{2}} = \frac{AC}{\frac{1 + \sqrt{3}}{2\sqrt{2}}}$$

$$AC = 3\sqrt{2} + 3\sqrt{6}$$

よって $\triangle ABC = \frac{1}{2} \times (3\sqrt{2} + 3\sqrt{6}) \times 6 \times \sin 75^\circ$
 $= 9\sqrt{3} + 18(\text{cm}^2)$